

第2回横浜市寿町健康福祉交流センター指定管理者選定評価委員会議事録	
日 時	令和3年12月20日（月） 13：00～17：00
開催場所	横浜市寿町健康福祉交流センター会議室
出席者	選定評価委員：阪東委員長、佐藤委員、村田委員、長倉委員、鈴木委員 （5人） 事務局：遠藤援護対策担当課長、齋藤担当係長、青木職員（3人）
欠席者	なし
議 題	1 実地調査 2 書類確認 3 指定管理者に対するヒアリング
開催形態	非公開
決定事項	1 各委員による評価は、1月中旬までに事務局あて提出 2 第3回評価委員会で評価について審議、決定する
議 事	<p>1 事務局からの説明(議事前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日のスケジュールについて <p>2 議事</p> <p>(1) 実地調査</p> <p>指定管理者の案内により施設見学を実施。</p> <p>(2) 書類確認</p> <p>指定管理者の保有する書類の確認を行った。</p> <p>(3) 指定管理者に対するヒアリング</p> <p>指定管理者から評価項目の自己評価に関する説明を行った後、質疑応答を行った。主なものは以下の通り。</p> <p><評価領域1 施設目的の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準1－(1) 施設の目的や基本方針 <p>(委員) 全員研修はどのくらいの頻度で行っているのか。</p> <p>(指定管理者) 年一回、5回に分けて行っている。</p> <p>(委員) 基本理念について職員に伝える機会はあるのか。</p> <p>(指定管理者) 全員研修の際に説明をしている。</p>

・評価基準 1 - (2) 地域の理解

(委員) 前回の委員会で、寿町は高齢単身男性が多くそこに目が向きがちだが、地域には女性や子供もいるので、そちらにも目を向けて活動してほしいという意見がでた。女性や子供に関して何かやっていることはあるか。

(指定管理者) コロナの影響で実現はできていないが、文化事業の中で女性の茶話会を企画している。

(指定管理者) 健康コーディネイト室は接客する職員が基本女性である。寿に移り住んだがあまりにも男性が多いので委縮してしまっている人もいるがそういった方が来て話込んでくれる。

(指定管理者) 利用団体で子ども食堂をしている団体がいる。施設の利用としてやっていただいているので、登録団体を増やすことが重要である。ただし、直接子供との接点を見出すことは難しい。

・評価基準 1 - (3) 利用者の意見の反映

(委員) 利用者会議はどのような構成メンバー、内容を予定しているか。

(指定管理者) 構成メンバーは利用登録をしている団体、内容は施設の運営への意見交換、協会からの説明、交流を図ること、などを予定している。

(委員) 利用者からの意見が出た後、運営に反映・共有するプロセスを教えてください。

(指定管理者) 毎週経営改善委員会を班長以上の職員で開催し、そこで共有・協議をしている。

(委員) 利用者アンケートは年に一回行っているのか。

(指定管理者) 今のところは年に一回だが、場合によっては複数回行おうと思っている。

・評価基準 1 - (4) 利用者の苦情への対応

(委員) 応募書類にある、苦情解決に公正性及び客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応をするための第三者委員は機能しているのか。

(指定管理者) 第三者委員はいない。

(委員) 苦情を直接職員に伝える方も多いとのことだが、職員が聞いたものの扱いはどのようにしているのか。

(指定管理者) 対応記録簿や業務日誌に内容や対応を記入し、それを共有している。

(委員) 最終的に統計は取っているのか。

(指定管理者) 取っていない。

(委員) 苦情の内容と対応の職員間での共有の仕方は。

(指定管理者) 定期的に記録を回覧している。

(委員) トラブルが起きた際に警察が対応することもあるとのことだが、通報する際の基準はマニュアルなどとしてあるのか。

(指定管理者) 手が出たり暴れたりした時点で通報する。

<評価領域2 職員配置・人材育成>

・評価基準2- (1) 職員の勤務体制・勤務状況の把握

(委員) 超過勤務の管理はどのようにしているか。

(指定管理者) 事前申請を基本としている。診療所は診療時間が延びることが多くやむを得ず超勤となることもあるが、事後チェックをし、法定時間は超えないようにしている。

(委員) 管理票は作っているのか

(指定管理者) 月ごとの時間が分かるようにしている。

(委員) 超過勤務が特定の人に偏るようなことはないか。

(指定管理者) 今年度夏に診療所で新型コロナウイルスのワクチン接種を行い、1名が60時間を超えてしまった。

(委員) 職員のメンタル面のケアは行っているか。

(指定管理者) 衛生委員会を設置し、産業医にも来ていただき月1回相談日を設けている。また、ハラスメント研修を管理職以上、正規職員を含めて行う予定。

(委員) テレワークは行っているのか。

(指定管理者) 緊急事態宣言の際は自宅勤務などを行ったが、インターネット環境がないので、テレワークは実現できていない。

(委員) 職場の中の密を回避する対策は行っているのか。

(指定管理者) アクリル板設置、換気などを行っている。

・評価基準2- (3) 利用者への対応

(委員) 利用者対応の際に配慮していることを聞きたい。

(指定管理者) 上から目線にならないこと、話を聞くこと、言葉遣い。

・評価基準2－(4) 個人情報保護・人権擁護

(委員) カルテの管理はどうなっているのか。

(指定管理者) 鍵のかかる棚で保管しているが、現在鍵を紛失してしまっている。部屋自体をしっかりと管理している。電子カルテ化を現在進めている。

<評価領域3 事業運営>

・評価基準3－(1) 地域・交流活動事業

(委員) 事業での反省点があれば教えてもらいたい。

(指定管理者) 利用者の固定化、地区外の方の利用が少なめであることが課題。

・評価基準3－(2) 医療・健康管理事業

(委員) 薬は院内薬局のみで出しているのか。

(指定管理者) 精神科は外の調剤薬局を利用、内科は院内処方ほとんど。

(委員) 服薬指導はどのくらい行っているか。

(指定管理者) 30名以上いる。

(委員) 医療相談室と健康コーディネート室の区別は。

(指定管理者) 医療相談室は医療に特化してやっている。療養指導、日々の健康チェックについては健康コーディネート室。情報共有を行い、連携を取るようになっている。

・評価基準3－(3) 健康コーディネート事業

(委員) 介護予防としてはどのようなことをしているのか。

(指定管理者) 体操教室を月2回行うなどしている。

(委員) 体組成計で測定した結果をどのように使っているか。

(指定管理者) データで出ると分かりやすいので、健康コーディネート室に来る動機付けとなる。

(委員) アウトリーチでの活動の割合は

(指定管理者) 1日に30～40人ほどと話している。

<評価領域4 施設の維持・管理>

・評価基準4－(2) 施設の利用許可
(委員) 団体の夜間利用の状況を教えてほしい。また。促進のための自主事業の企画などは当初の予定通り行っているのか。
(指定管理者) 定期的に利用いただいている団体もあるが、まだ少ない。演劇の講座を企画した。他の講座についても企画中である。

・評価基準4－(3) 事故防止体制・緊急時対応
(委員) ヒヤリハットの記録はどのように取っているのか。
(指定管理者) 日誌に記載して供覧している。

(委員) 感染症対策マニュアルはあるのか。
(指定管理者) 準備中。

<評価領域5 経営管理>

・評価基準5－(3) 指定管理料の執行
(委員) 税理士が監査しているとのことだが、この税理士は顧問税理士もしているのか。

(指定管理者) 顧問税理士も兼ねている。

(委員) 監事が税務申告を兼ねるのは望ましくない。

(委員) 予算を流用する際のプロセスについて伺いたい。

(指定管理者) 大きな流用は所管局に相談する。通常の場合は、経営改善会議で協議のうえ、決裁をする。基本的には決算で承認をいただく。

(委員) 財務規程では、流用をする場合は何を作成の上、理事長が承認をすることになっている。それが現実的でないのならば、規程を見直す必要がある。

4 事務局からの説明

以下の事項について事務局より説明を行った。

- ・本日の審議内容の結果を踏まえ、各委員により「(資料1) 評価シート」、「(資料4) 採点表」を作成し、1月中旬までに事務局宛てに提出を行う。
- ・各委員より提出された「(資料1) 評価シート」、「(資料4) 採点表」を事務局で取りまとめ、取りまとめ案を作成する。
- ・第3回評価委員会で評価取りまとめ案について審議し最終決定を行う。

